

平成28年度第2回
吉富町総合教育会議会議録

吉 富 町

- 1 日時及び場所 平成28年12月27日(火)
開会：9時55分 閉会：11時05分

- 2 開催場所 吉富フォーユ-会館2階 会議室3

- 3 出席者
構成員(6名) 町長・教育委員会
出席者 町長 今富壽一郎
教育委員会 守口薫・瀬戸口由美子・寺岡好信・戸成敦子
園田陽一
事務局 教務課課長江河厚志・教務課係長瀬口直美

- 4 議題
(1) 吉富幼稚園の2年制について(現状報告等)
(2) 平成29年度新規事業計画
(3) 学校教育、社会教育各分野の取組について

- 5 傍聴者 なし

6 議事の経過

○事務局 本日はお忙しいところ、総合教育会議にご出席いただきましてありがとうございます。定刻より5分ほど早いですが、みなさまお揃いですのでただ今から総合教育会議を開会いたします。開会にあたりまして町長からごあいさつ申し上げます。

○今富町長 本日は、28年度の第2回の総合教育会議にお集まりいただきありがとうございます。早いものでもう目の前に年末、年始を控えておりますが、皆様方には大変お忙しい時期ではなかったかなと思います。総合教育会議に先立ちまして、つい先日、吉富小学校で教師による体罰という事件がありました。中身については、教育長から報告があっていると思いますが、今後は、重々注意をして教育に、学力

向上に取り組んでいただきたいと思います。また、子ども同士もいろいろなトラブルがあったようですが、それぞれが解決の道を見つけて進んでいただけるようにと思っています。これから、しっかりと勉強していただいて、期末に向けてしっかりと取り組んでいただきたいと思いますところ。また、それぞれの中で教育の大切さとか私自身の中でも身に染みて、改めて考える機会になったのかなと思っています。そのような中で、今後の吉富町の教育について、ご意見をいただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

○事務局 総合教育会議の設置要綱で町長が議長となると定められておりますので、これからの協議調整事項からは、町長お願いします。

○町長 要綱に従いまして、議長を務めさせていただきます。3の協議事項に入りたいと思います。まずは、(1)吉富町幼稚園の2年制について、事務局からまず現状説明をお願いします。

○事務局 それでは、「吉富幼稚園の2年制について」第1回の会議でも説明させていただきましたが、平成29年度から4歳児、5歳児の2年制での募集をさせていただきましておりましたが、今回11月に募集をした結果、現在のところ4歳児2名の応募がっております。男子、女子1名ずつの2名となっております。資料1に幼稚園の教育課程ということで、参考につけております。現場においても、今までの5歳児のみから来年度は4歳児からということで、教育課程に基づく幼稚園教育を就学前2年間行い、小学校につなげていくということで、初めての4歳児教育になるわけで、まず、5歳児幼稚園教育に繋げるための4歳児教育ということで、教育計画を立てているところです。まず、4歳児について、保育園と幼稚園教育と具体的にどうちがうのかということだと思いますが、教育課程でよくいわれるのが、5領域「健康・食育」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」となるわけですが、これは基本的には、幼稚園も保育園も同じであると、体験を通して、目的をもって取り組ませるということで、保育園には、それに「養護」がプラスされるということになります。では、具体的にやることの違いはということを確認しましたところ、現在の5歳児と同様で、保育園児との混合クラスになりますので、当然ですが、2時までは幼稚園教育、2時以降は保育という視点での活動をするということになります。ですから、幼稚園児だから、これをして、保育園児だからこれをというよう別々なことはなく、目的やねらいを教育課程に基づき行うということになります。そうして具体的な活動計画を立て、実施することにより、5歳児に繋げ、就学に向けての2年間の教育を行っていくということをまずはやっていくということです。以上、現状報告です。

○町長 今、資料をもとに説明がありましたが、皆様方からご意見、ご質問があればお願いします。本町も初めての取組になりますので、皆様のいろいろなご意見をいただきたいと思います。

○守口委員 質問ですが。特色ある教育の中に「アスリート教室を通した」体育指導とありますが、具体的には、教育のねらいと内容のどこに位置するのですか。

○事務局 体をつくるという観点でいえば「健康・食育」の部分になろうかと思いません。

○守口委員 ふつうはそうですよね。

○事務局 ただ、現在もスポーツ推進委員がこどもの森に行って指導をしているのですが、例えばその活動がグループで行うという場合は、「人間関係」という部分での活動にもなるのではないかと考えます。

○守口委員 わかるんですが、アスリート教室そのものが、どういうものなのか。具体的には園がやっているのか、例えば小学校ではクラブ活動とかあると思うんですが、どういうねらいでやっているのかなと。

○事務局 あくまで園がやっています。今、現実的に、とぶ、なげる、走るなどのそのものができる子が多い。そんな中でそういう運動を、専門的にスポーツ推進委員が指導するということです。

○守口委員 そのスポーツ推進委員がどういう意図でいくのかがよくわからないですが。アスリート教室とかいうことが、このアスリートということが幼稚園教育の中であるのか、その辺がわからないのですが。社会教育の中では、選手、アスリートというものはあるでしょうが、幼稚園教育の中で、しかも特色の中でそのようなことがあるのか。園として、体力をつけていくとか、そういう特色があるのからそれはそれでいいと思いますが。言葉が、アスリートというとスポーツ選手というふうにとらえられるので。アスリート教室がそもそもどういう意図のもとにやっているのか。そこがわからないので。

○町長 幼稚園の中で、その最たるものが「ヨコミネ式」というのがあって、それはびっくりするほど鍛えあげるんですが、本町の場合は、この運動を通した教育が幼

稚園の先生よりスポーツ推進委員の方が慣れていて、詳しいということで、スポーツ推進委員にお願いしているんだと思います。時間を決めて、遊戯等も含めての体の動かし方なんかを指導しているんだらうと思います。その言葉が「アスリート」ということですね。体力向上とか運動能力向上とかであればよりわかりやすいと思いますが。ほかに何かありませんか。本町で、幼稚園の2年制というのが初めてで、できれば将来は、3歳、4歳、5歳の3年制をしていきたいという希望もあります。これは、子育て支援も含めたところで、教育と子育て支援とを含めて幼稚園の複数年化をやっていきたいというのが個人的な思いです。両親が仕事をしている家庭では、保育として保育園があり、保護者のどちらかが家にいて保育をする場合は、5歳にならなければできなかったわけです。子どもの発達状況は、保護者などに聞くと、3歳になれば家庭内だけでは子どもはおさまらない、かといって昔のように地域で遊ぶかということも昔ほどできないので、お母さん方も幼稚園に行けたらなと思っているようで、このへんの周りをみると私立の幼稚園が結構あって、しかし、そこに行くには経済的なことがかなり伴うので、やはり公立の幼稚園でという希望が結構ありました。2年前から幼稚園の複数年をやろうということで準備を進めてきたんですが、まずは、4歳児、5歳児の2年間をやろうということで、来年度からできるようになったわけですが、これには保護者のそういう思いも入っています。以前は、幼稚園と保育園とあると子どもの奪い合いのようなことがあったり、中津市も幼稚園は入学前の子どもだけということでやっていたようですが、複数年の公立幼稚園の要望がかなりあってやっと実現しますので、何とか成功させたいと思っています。そして、吉富町の子育て、教育が特色あるものとなればと思います。まだまだ初めての取組でもありますので、委員さん方にもいろいろな御意見をいただいて取り組んでいきたいと考えています。では、続いて2の「平成29年度新規事業計画」についてに入りたいと思います。事務局から説明します。

○事務局 資料NO2.に基づいて説明します。平成29年度新規事業計画としておりますが、あくまで、これは、現段階での委員会としての計画であり、これから、企画財政課へ予算要求し、査定があり、最終的には、議会へ提出して可決成立しなければ行えないもので、あくまで、現段階での総合計画に基づく計画を確実に進めていきたいという委員会としての案ということでご理解願います。まず、学校教育関係で、1点目小学校の外壁落下防止対策事業です。これは何度かお話をさせていただきましたが、30年以上経過した校舎の外壁の落下防止対策で、国庫補助での事業実施を考えているものです。当初は、平成29年度の国庫補助を受けての実施としておりましたが、今回平成28年度国の第2次補正予算が可決されましたので、前倒しでの国庫補助を要望しまして、11月16日交付決定がきておりますので、28年度国の補助金を受け、事業については29年度に繰り越して実施するものです。国の補正予算への

要望というのは、財政的に非常に有利になり、通常であれば国庫補助 1/3 で、残りは町費となり、金額が大きいので起債での対応となると思うのですが、国の補正予算を受けますと、その起債について、補正予算債という非常に財政的に有利な起債が借りられますので、この補正予算での補助金を要望したところです。次に、小学校の屋上等の防水更新ですが、これにつきましても、外壁同様経年により劣化しておりますので、外壁工事のために足場をくみますので、同時に工事をしたいと考えています。これは、補助メニューがありませんので、単費での実施となり、財源については、企画財政課との協議になります。3点目が校内LANの整備事業です。以前の総合教育会議でもおはなしさせていただきましたが、情報化教育ということで、今後は、タブレットの導入も検討しており、また、パソコン教室のパソコンも導入して8年が経過していますので、そろそろ更新を行いたいと考えておりますので、現在校内LANは有線で整備しておりますが、この機会に無線での校内LANに更新することとし、これも国の補助対象になっておりますので、外壁同様28年度の国の補正予算に要望し、こちらは、まだ交付決定まちとなっていて、追加での交付決定がある場合は、1月には決定がありますので、交付決定されれば、外壁同様の財源で行い、もし、補正予算での対応ができれば、29年度予算での要望はしておりますので、それでの実施となります。次が先ほどでましたパソコン教室のパソコンの更新です。これについては、補助メニューはありませんので、前回同様5年間リースでの更新を計画しております。次の情報教育推進事業で、タブレットパソコンの整備です。来年度は、新1年生82名の入学が見込まれていますので、1学年全員が使用し、学習可能な台数ということで、90台の導入を計画しております。今年度、3台先に購入して体育の授業等で使用しておりますが、実技について非常に指導しやすいし、子どものわかりやすいということで、今後は、そういう形での活用を考えています。学校教育の最後になりますが、コミュニティスクールの導入ということで、今年度、検討委員会を設置し、29年度の導入に向け、検討を進めているところです。今後この制度を導入し、新しい学校づくりを行っていきたいと考えています。

次が社会教育関係ということで、3点あげています。総合計画に基づいてのもので、1つめは、大ホール客席シート清掃事業です。これは、フォーユ会館も築20年が経過し、シートの汚れが目立ってきたため、全席クリーニングを行うものです。次が、体育館床改修事業です。各種競技に必要なラインを現在は、テープで引いているが、経年で剥がれ、剥がれた分だけテープで修繕しながら使用していますが、剥がれた部分が競技中に足にひっかかったりして危険でありますので、今回全体をテープではなく、塗装という形で修繕をしたいと思っております。3つめが、古表神社傀儡子人形衣装調査です。これは、国庫補助事業です。専門的な調査になるので、調査員等については、国、県に支援してもらいながら実施したいと思っております。以上が29年度の新規予定事業です。

○町長 説明がおわりました。項目がかなり多いですが、順番を問わずご質問、ご意見ありましたらお願いします。事業が目白押しで、予算もかなり伴いますので、そのへんの準備が必要かなと思っていますが。

○寺岡委員 2つ教えてください。最初の校内LANの整備ですが、これは、学校施設環境改善交付金事業ですが、昨日の新聞で防災ということで、避難所に指定されている公共施設、学校施設や庁舎に、総務省が早急にLANを整備するということで、これは、国が1/3ですが、あれは、100%ということで出ていましたが、それとこれとは違うんですね。

○事務局 違います。これは、学校施設で、文科省の補助金になります。2日くらい前の新聞に総務省がそういうことで進めていきますよというのがでていましたが、総務省の分は、あくまで避難者、多数の方が使えるLANということで、Wi-Fiの整備を進めるというもののようですが、今回、吉富小学校が整備を予定しているものは、あくまで学校の教育用のLAN整備です。避難所となると体育館が主になると思うのですが、そこで、一般の方が使うLANと教育用のLANはあくまで別としないと、セキュリティ上問題もありますので。今回、一応見積もりは、体育館もLAN整備をしたらどれくらいかかるかというもので金額は出してもらっていますが、避難者が使うとなると200人か250人かとにかく多くの方が一度に使えるくらいのものでないといけないので、金額的には相当かかると、私も詳しい内容を承知していないので、今後、総務課にも確認していきたいと思います。

○寺岡委員 LANの整備をすると、通常は教育に利用でき、災害時には避難者が利用できるような施設として整備が充実するのかなと新聞をみて思ったものですから聞いてみました。そうなれば、財源100%を国からもらえるのかなと思ひまして。校舎も含めて総務省の分でできないのでしょうか。

○事務局 そうですね。国がどう考えるか。教育用にしか使わないものと、避難者用のものと同様整備ができるのか、その辺、私も勉強不足で、その点は今後確認しながらよりいい条件で、よりいいものができるようにしていきたいと思います。

○寺岡委員 それができる不都合がなければ、その方がいいと思いますので。それともう一つ次のページですが、傀儡子人形衣装調査をして、その先にはなにか国庫補助とかあるのでしょうか。

○事務局 今回は、調査だけです。ただ、そのあと、修復や修繕となるとまた、別で、

国指定になると別メニューであると思います。

○町長 今、細男舞・神相撲が無形文化財の指定になっているように、今回、衣装を調査して国指定とかになれば補助が受けられるというかと思います。それとさっきのWi-Fiは、公共施設とか都会はいろいろなところで使えるようになってるが、建物の中だけでつかえるのか。というのが今度、建て替えをする別府団地にWi-Fiにつけるかつかないか検討する中で、別府団地につければ近所の人でも使えるとか言っていたが。小学校につければ、近所の人がかえるようになるのかなと。

○事務局 よくわかりませんが、建物のどこにつけるかで、届く範囲というか、使える範囲があって、もしかしたらその建物の近くでは使えることもあるのかもしれない。

○守口委員 建物の中だけだと思いますと。建物につけていたらその建物のものであって、費用も建物の人が払うことになると思います。私も今、タブレットをっていますが、これをここで使うとなると、自分の入っているものでインターネットに繋ぐので、費用がかかるが、この建物にWi-Fiがあれば自分の費用ではなく、それを利用してインターネットができるということです。

○町長 海外なんかに行くとそういう設備がされているので、タブレットだけもって出かけるとかありますが、日本はそのような設備がまだまだないですね。

○守口委員 公共の建物に入ったら、使えるというのがいいですね。

○町長 最近、便利がいいなと思うのが、タブレットは持ってでられて、それだけでいろいろ操作もできる。教育では、そういう中に学習メニューが入って、教室の中でそれを使ってみんなで勉強するんだろうなと思います。最近、やっと職員が言っている子どもたちにタブレットをとというのが少しわかってきました。佐賀の樋渡市長が何年前か前に全員にタブレットをととか、進みすぎていると思っていたが、そうではなく、今は、そういう時代で、遅いくらいなのかなと思います。今は、子ども達の方が進んでいる。大人の方が追い付かない。早く、早くしてあげないと、子どもの欲求があるときに与えてやるべきかなと思います。

○守口委員 あとは、使い方を正しく指導するということですね。悪用しようと思えばいくらでもできるので。

○事務局 学校の教材として与えるということは、利用方法等も並行して教えていかないといけない責任もあります。それと、パソコン教室も整備をと考えていますが、経費がかかるので、タブレットだけ入れる市町村が多いですが、最終的には業務で使うとかになるので、やはり、キーボードでうつということも学習した方がいいかなと個人的には思っています。先ほどの使い方の部分も含めて、いっしょに進めていかなければいけないかなと思います。

○守口委員 使い始めると便利がいいですね。いつでも、どこでも、調べ物ができたり、便利です。気になる動物、植物の写真をとって、調べたりとか。

○町長 ほかにご質問、ご意見はありませんでしょうか。いろいろ整備するのは、予算の問題もありますが、少しでも早くやっていきたいと思えます。先ほどの外壁も国の予算の都合で、28年補正予算の方が補助が受けやすいと言われたので、それで申請をしたらあつという間に補助がついて、そのへんは、今後も臨機応変にやっていきたいと思えます。

○守口委員 コミュニティスクール導入について、ひとつ私ができればいいかなと思っていたことが、小さなことですが、私の教育の理想が、地域住民が支えている学校ができればなと。1町1校ですのに、情報がほとんど流れてこないんですよ。校長がどんな考えで学校づくりをしているのか、PTA会長はどなたがなっているのかとか、子どもが今、どういう状況なのかとか、小、中組織は違いますが、その辺の情報を小中一貫で発信したらいいと思えます。小中合同でそういう情報誌を出すとか。今、吉富広報が町全体で出しているのですが、たとえば、教育委員会だよりであるとか、人的なところもありますが、そういうものが出せたらなと思えます。平日は、地域の方々が、小、中学校にボランティアで入っていると思えますが、今、どういう方々がどういうことで学校に入ってやっているとか、そういうことが全然わからないので。吉富町には、いろいろな特技を持っている人がまだまだたくさんいると思うので、お金を掛けずに、そういう地域の方々をボランティアとして活用していくためにも、そういう情報を発信したらいいのかなと思えます。教育委員のみなさんもこういう考えがあるとかですね、そういうことを書く機会があってもいいのではと思えます。そうでないと、今、校長先生がだれかとかまったくしりませんものね。そういうことを検討していただきたいです。

○町長 吉富町は、1町1校ですよその方からみると羨ましがられるんですよ。町中が一つのところに通って、町全体がそこで顔見知りになって、いいですね、と。ただ、小学校は、吉富町で、中学校は、中学校組合なんですよ。そういう意味で、学校は

別々で、地域とも別なようで、今言われるようなこともあるかなと思います。子どもさんが通っている家庭ではわかるでしょうが、そうでない家庭では、知りうる機会がないのかなと思います。そういう意味での広報活動というのは、今の広報でも委員会だよりのようなコーナーであったり少し紙面をつかってPRする場も必要かなと思います。

○瀬戸口委員 自分の子どもが学校に通っていた時は、子どもの友達から何々さんのお母さんと知られていたのが道で声をかけてもあいさつがあったが、学校に子どもが行かなくなって久しくなってから、あいさつ運動とかでもほとんどの子どもが顔をみないんですよ。さみしいですよ。町に小学校が一つしかないの、自分は家族のように思っているが、子ども達はそうは思っていないですね。町民と子どもが親密になっているというふうに誇大視されて伝わっているのかなと。

○町長 一つの町に、一つの学校だから住民と子どもたちがみんな顔見知りだと思われる。小学校の子どもが通学しているときに、声かけをすると、子どもからみたらどこの人か知らないの、子どもは家に帰ってから、今日知らないおじさんに声をかけられたと。それとか、学校に行って、知らないおじさんに声かけられたと、極端な話をすると、それが不審者情報に載って、それを見た人がそれは俺が声をかけたというような話もあります。なかなか今はむずかしい。変な事件も多いので、保護者も学校も指導が難しい。でも、田舎に行くと村全体が顔見知りとかですね。吉富町もそうならばいいかなと、その一端がコミュニティスクールでみなさんからお知恵をいただいて、こういう風にしたらいいとか、ああしたらいいとか、考えていけるのかなと思います。

○瀬戸口委員 先日、給食を試食させてもらった時に、話をさせてもらったのが、250円でこんなものが食べられてらいいよねって。地域の一人暮らしのお年寄りに子どもたちがお手紙を書いて招待して、招待した子どもさんがお世話するとか、そうするとつながりができるんですよ。

○町長 給食の話もあつたんですよ。1月4500円ですか、それは、食材の値段がそれで、人件費が入っていないんですよ。それを大がかりにすると、お金がもっとかかるので、たまに何かのときにそういうこともいいのかなと。

○瀬戸口委員 それは一例ですが、いろんな地域の方に周知して、子どもたちと接触すると顔見知りになるので、声もかけやすいですね。

○町長 地域で声かけをすることで、子どもたちの見守りをするというのもいいですね。そのへんもコミュニティスクールを核として検討していただきたいと思います。ほかにありませんか。

○瀬戸委員 古表神社の傀儡子人形衣装もそうですが、人形自体も激しくぶつかりますよね、ですから痛みが激しくなってるのではないかと思います。

○町長 他にないようでしたら、3番の学校教育、社会教育各分野の取組について、事務局お願いします。

○事務局 これについては、先ほど、29年度の事業計画、予算もまだ確定していないので、確実にとは言えませんが、近々予定している事業ということで説明させていただきましたが、この項では、今後、将来に渡って取り組んでほしい項目等あればご意見をいただければと思い項目をあげさせていただきました。

○守口委員 ひとつ、子どもたちの心の豊かさをどう育てていくのか。そのために芸術に触れさせるということがいいのでは。一流のものにふれさせる、聞かせるとか。毎年は無理でも、一流の人を呼んで聞かせるというのが必要ではないでしょうか。一流のものは、心を打ちますからね。そういう鑑賞の機会を是非お願いします。

○町長 文科省かなんかで、九響をよんでくるとかありますね。たまたま、妻が小学校の教師をしてまして、7、8年前、唐原小学校に歌舞伎をよんだんですが、中村吉右衛門が小学校で歌舞伎をした。いろいろな話もしてくれた。文科省に申し込んで、なかなか当たらないようですが、順番かなにかであたってきてもらったと。子ども達もテレビで見るものをみて喜んでたと。本物にふれるということですよ。小、中学校も申し込んでるんだらうとは思いますが。何か、本物のものをよんであげたいなと思います。町村会でも3年に1回、この辺の学校は、フォーユー会館を使って九響をよんで、今年度は吉富中学校が対象ですが、やはり本物は違うと言いますね。そういうものを、子どもの感性豊かな時にふれさせてあげたいなと思います。この前、小・中学校の児童、生徒を対象に「野口健さん」をよんで話をきいてもらいました。今後も続けていきたいと思っています。

○守口委員 教育行政として是非お願いします。

○町長 わかりました。美術館とかも見せたらいいのかなと思います。それでは、他にないようでしたら、以上で協議事項は終わりたいと思います。

○事務局 以上をもちまして、平成 28 年度第 2 回総合教育会議は終了させていただきます。ありがとうございました。